

# 輝人

かがやきびと

このコーナーでは仕事やプライベートで  
“輝く人”を紹介します。  
第56回は、  
商品部でサブバイヤーとして活躍する  
一柳俊貴さんをクローズアップします！

選択に迷ったら難しい方を選ぶ。

できない理由を考えるよりも

挑戦することで、

自分の限界を超えていきたい。

## 内部推薦、アカカベに決めた理由

大学生の時に津の辺店でアルバイトをしていた一柳さん。内部推薦を受けた時、アカカベへの入社を決意した理由は“人の温かさ”だったと当時を振り返る。「本社に併設している店舗だったこともあり本部の方と顔を合わせる機会も多かったのですが、気さくに声をかけていただくことが多く、自分のことを気にかけてもらえているということが嬉しかった。商品のお届け等で本部事務所に伺うこともよくありましたが、会社には流れる温かい雰囲気が入社を決め手になりました。」

## 作業が“仕事”に変わるとき

初配属先となった出口店、住道店を経て、2018年に新店・柏原大正店に着任。2023年に異動するまで柏原大正店で過ごした約5年の日々は、仕事に対する自身の意識を変える、濃くてありがたい時間だったと一柳さん。「寺本店長(当時)からは、売場づくり、数字に対する意識などたくさんのことを教えていただきました。客数、客単価をあげるためには何をしないといけないのか、お客様に魅せる売場とはどういうものなのか。入社から3年を迎えるタイミングで柏原大正店に異動しましたが、体を動かし、がむしゃらに業務をこなしていたそれまでの働き方から、自分で考え試行



一柳さんの  
モットー

### 「何でもいいから一番を目指す」

幼いころから母親に繰り返し言われてきた言葉です。子供の頃は“そんなに頑張りたいのに”と反発する気持ちもありましたが、目標を持って何かに取り組む過程で、得られたものは多かったと感じています。

一柳 俊貴  
(いちやなぎ としき)

2017年4月入社  
大学時代のアルバイトを経てアカカベに入社。  
初配属となる出口店、2店舗目となる住道店で経験を重ね、新店・柏原大正店に副店長として着任、  
同店舗で店長に昇格。2023年9月に商品部へ異動し現在はサブバイヤーとして奮闘中。

錯誤を繰り返すようになりました。考えることで作業が仕事に変わる。自分の意識が大きく変わったのを覚えています。寺本店長には私が店長になった後もSVとしてサポートしていただきました。初めての店長業務で不安や迷いはたくさんありましたが、見守り導いてくれる方の存在はとても大きく、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。」

## できない自分に出会い、 やるべきことが見えた

店長からバイヤーへのキャリアチェンジのきっかけとなった本部主催のセミナー受講。月に一回競合店を視察し、それを踏まえた上で自店の商品展開を提案する。一柳さんが発表した提案内容には先生からダメ出しの嵐。発表すること自体にも不慣れで、良いところが一つも見せられずに研修期間は終了。これでバイヤーへの道はなくなったと思っていたところに商品部への異動を打診された。「自分には無理

かもしれないと思う気持ちも正直ありましたが、それよりも乗り越えてステップアップしたいと思う気持ちの方が強く、迷うことはありませんでした。」

## やるからには一番を目指したい

商品部でサブバイヤーとしてのキャリアがスタート、店長時代は自店に向けて発信していた言葉はアカカベ全店に向けて発信するものになった。責任の重さを感じ怖くなることもある。自身が設定した売価に対して“もっと上手くできたんじゃないか?”という反省を繰り返し、一段ずつ着実に階段を昇っている。「社長や出口部長からいつも言っていたかのように、情報収集力を高め、トレンド感のあるものをいち早く店頭と並べるスピード感を大切にしたいと思っています。幼いころから母に叩き込まれた教えの通り、やるからには一番になりたい。バイヤーとして独り立ちし、自身が担当するカテゴリーのプロフェッショナルを目指して頑張ります!」